





# 雑記帳



## 地図記号

息子が学校から持ち帰った印刷物のなかから地図記号の小テストが出てきました。職業から地図記号を使うことが多かったので、私の方が見たことのない問題に挑戦したのですが、見たことのない記号があり困ったことに。早速、国土地理院のホームページで調べると、なぞの記号の正体が分かりました。新しく生まれた地図記号として、博物館、図書館、風車、老人ホーム等の記号があり、平成18年から使用されているそうです。また、使われなくなった記号も載っています。昔、習った電話局、古戦場等の記号はなくなっていたんですね。地図記号も時代とともに、変化しているようです。そこで気になったのが、

これ、\* この地図記号( ) 存じですか。

森林管理署等(以前は営林署等)をあらわす地図記号で、漢字の「木」を記号にしたものです。前述のホームページには、地図記号の一覧や各記号の解説があり、森林管理署の記号も載っています。実際の地図(紙)で、根釧西部森林管理署・釧路湿原森林ふれあい推進センターを確認するため、国土地理院地図販売店に行き、最新の国土地理院の2万5千分の1地形図「釧路」平成21年7月1日発行(測量履歴平成20年更新)を購入。地図を広げ眺めると、釧路ならではの地形記号が目に入ります。この先、事情により地図を、お示しできないのが残念ですが、

日本で唯一の坑内掘炭鉱をあらわす「採鉱地」の記号 石炭を港へ運ぶ鉄道

あらわす「特殊鉄道」の記号 など、その石炭列車が走る春採湖付近を見ると、新しく生まれた 「博物館」の記号(釧路市立博物館をあらわす)の近くに

森林管理署の記号が表示されています。しかし、今はインターネットの時代なので、国土地理院の地理院地図(電子国土web)を見てみると、なんと記号が森林管理署から「官公署」の記号 に変わっています。なぜでしょうか?

国土地理院によると、森林管理署(営林署の時代と比べ)の数が減ったため、平成21年3月から使わなくなり、官公署として表示するようにしたそうです。(なお、販売されている紙地図は、次の発行時に修正されるそうです。)

遠く明治の時代から使われ、百有余年及び伝説のある地図記号はなくなりましたが、地図での表示は変わってしまいました。雷別地区国有林への植樹やドングリ倶楽部の活動等、国有林をフィールドとした活動等を引き続き行って参りますので、よろしくお願いたします。

## 植樹の季節

最近、新聞等に植樹祭や植樹イベントの案内やサクラを植えました等の記事を見かけます。植樹の季節がやってきます。多くの人がイベントに参加して、木を植えているようです。6月に植樹のイベント

トが予定されています。その準備で、山へ行く機会が増えています。山の状況をお伝えすると、若葉が茂り、鮮やかな緑がきれいです。また、ウグイス等の野鳥の鳴き声も聞こえ、とても「さわやか」です。是非、皆さんも、この「さわやか」を体験しましょう。運が良ければ、ウド、ワラビといった山の幸を発見できるかも知れません。また、6月は環境月間です。当センターのイベントへの参加を、お待ちしております。



## 6月の予定

- \* 6月7日(土) くしろエコ・フェア2014
- \* 6月11日(水) 第1回ドングリ倶楽部
- \* 6月12日(木) 新日本宗教団体連合会植樹
- \* 6月22日(日) 植樹の集い

「自然再生は一本の植樹から」  
管内の自然情報の収集や情報提供を行っています。下記ホームページを随時更新しておりますので是非ご覧下さい。



## 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h\_kusiro\_f@rinya.maff.go.jp

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro\_fc/index.html

当ふれあい推進センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。